

# 1. 授業単元名 「世界に1つの マイTシャツを作ろう！」

2. 教科 図画工作科，総合的な学習の時間

3. 1～6年（「クラブ活動」でも可能）

4. 使用アプリケーション

Adobe Photoshop Elements（アドビフォトショップエレメンツ）

5. ねらい

- ・自分のイメージを生かし表現したものを身に付けて，作品を発表することができる。（図工）
- ・自分が表現したいものをTシャツのどこにつけるのかでイメージが変わることを実感し，造形の楽しさを知る。（図工）
- ・日常生活を豊かにするものを，自分たちの手で作っていこうという意欲を育てる。（図工・総合）

6. 活動の流れ

Adobe Photoshop Elements（アドビフォトショップエレメンツ）を起動する。

新規作成をクリックする。（画面の大きさを決める。）

絵を描いていく。（写真を加工する。）

【保存】をクリックして，作品をまず保存する。

【プリントプレビュー】で印刷画面を確認する。

プリント紙への印刷では，「左右反転」させる。（プリンターによっては，「アイロンプリントペーパー」を選択するだけで，OK！）

Tシャツにプリントして完成！

7. 授業のコツ

- ・作品に，フィルタをかけたり，フォントを変えたりするだけで，様々なイメージが表現できる楽しさを実感させる。【団体演技のイメージで，色や文字の形を変え「画面構成力（デザイン力）」が鍛えられる。】
- ・アイロンプリントでは，絵の周りには，5mmほどを残し，切り抜いていく。十分熱したアイロンで体重をかけながら，転写していく。堅い台の方がきれいにつく。
- ・お祭り向きのフォントが，株式会社丸岡白舟印舗 <http://www.hakusyu.com/>で公開されている。これを使えば，同じ漢字でも，イメージの広がりが期待でき，はっぴやうちわを飾る文字になる。



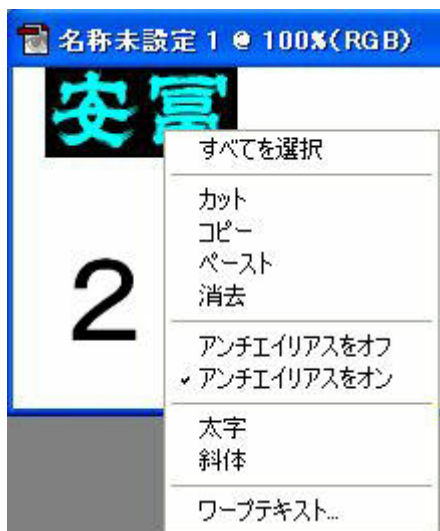
エレメンツを起動する。

【ファイル】 【新規】をクリックする。（画面の大きさを決める。）



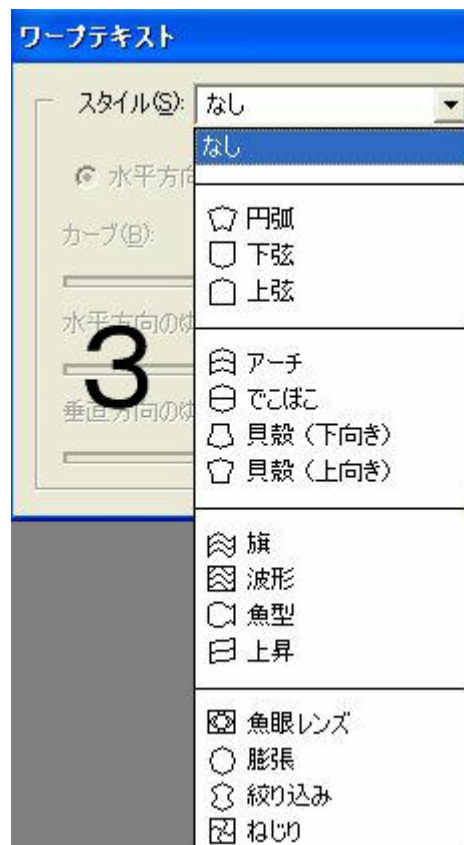
A4の用紙で、4人分の作品を作るならば、縦6cm×横18cm程度にする。

教師が、できあがりを想定し、画面の大きさを決めておく。



文字や絵を描いていく。（写真を加工する。）

文字フォントをイメージに合わせていろいろと試していくよう助言する。写真の加工では、フィルタを試していくが、「1段階もどる」ボタンを何度も押せば、元の画像にすぐに戻れることを伝え、安心感を与えておく。



文字を変形させるときは、【ワーブテキスト】を選択し、いろいろなスタイルから、自分のイメージに合うものを選ぶ。

作品の大きさを確認するために，【ビュー】から【定規】をクリックし，画像の周りに目盛りを表示させる。



【保存】をクリックして，作品をまず保存する。

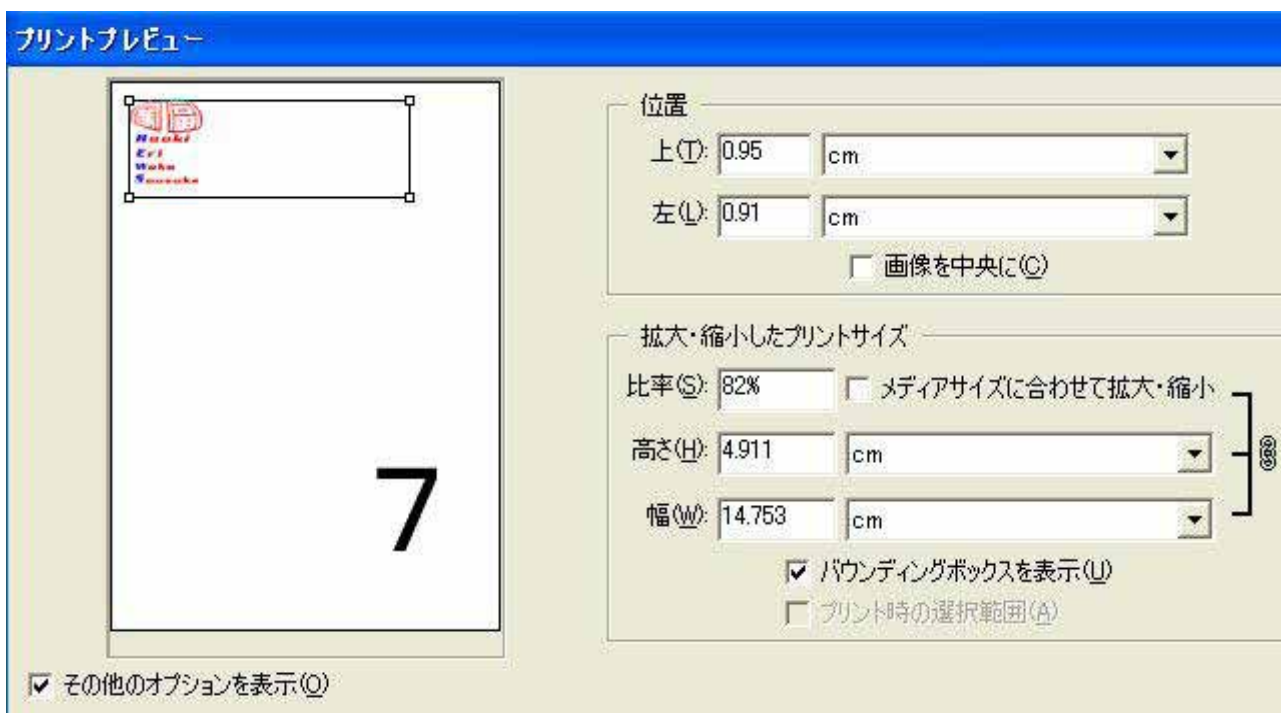
【プリントプレビュー】で印刷画面を確認する。



これから後の「アイロンプリント用紙印刷」作業は，学年の発達段階に応じて，子どもに任せたり，教師が行ったりする。

子どもたちは，まずは普通紙に印刷し，自分の作品が仕上がった喜びを実感できるようにする。

それを切り抜き，Tシャツのどこにそのプリントを印刷するのか試行錯誤してみるのもおもしろい。



アイロンプリント印刷作業では，【プリントプレビュー】で，「画像を中央に」を解除し，「バウンディングボックスを表示」を有効にする。横に表示される「位置」を確認し，一枚の紙に，4人分が印刷できるようにする。

アイロンプリント用紙は高いので，「Aさんは，一番上，Bさんは2番目の位置・・・」というように，印刷する場所を移動させ，紙の節約に努める。

プリント紙への印刷では，「左右反転」させる。（プリンターによっては，「アイロンプリントペーパー」を選択するだけで，OK！）

